

第23期（2008年3月期）

第1四半期財務・業績補足説明資料

2007年7月26日

サイバネットシステム株式会社
代表取締役社長 田中邦明

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

目次

CYBERNET

- ◆顧客業界の動向及び当社の取組み
- ◆2008年3月期第1四半期業績・財務の概況
- ◆2008年3月期中間期及び通期業績予想
- ◆添付資料

第23期（2008年3月期）

顧客業界の動向及び当社の取組み

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

顧客業界の動向

CYBERNET

2007年度第1四半期のトピックス

自動車関連	自動車制御標準ソフト、50人体制の開発組織・トヨタ正式発表 電気自動車、「軽」並みコスト目標・経産省が産学と開発 自動車用電子制御ユニットの新工場建設（ホンダ） カーナビゲーションと連動した事故未然防止を新車に搭載（日産）
半導体関連	2010年にMEMS関連市場は2.4兆円と予測（マイクロマシンセンター）
プリント基板関連	2007年の日本の電子基板は1兆3,394億円産業（JPCA） 中国では高品質の基板の需要が急増
液晶表示装置関連	欧州では、薄型関連基板の需要増
制御関連	2007年度の制御機器に135億円の設備投資を計画（松下電器）
産業・工作機械関連	2007年度 半導体・薄型パネル製造装置販売額2.2%増の2兆円3,716億円
光学関連	携帯の写真、800万画素まで処理可能なシステムLSIをサンプル出荷（NECエレ） 携帯電話向けカメラ用光学デバイス2006年見込み5,578億円、 2010年予測 7,337億円（富士通カメラ） 車載カメラ用光学デバイス 2006年見込み 182億円 2010年予測 429億円 （富士通カメラ）
IT関連業界	今後、シンクライアント市場の伸長に伴いサーバ系ソリューションの需要増大 セキュリティポリシー監査パッケージ2007年見込み 4億円 2009年予測 14.5億円（ミック経済研究所） セキュリティアプライアンス 2007年見込み 458.2億円 2009年予測 600.0億円（ミック経済研究所）

- ◆ 主力ソフトウェアの販売強化と新規ソフトウェアの立ち上げ
- ◆ 新規ソフトウェアのリリース

■ CAEソリューション

2007年4月

- MATLABの複合領域フィジカルモデリングツール “Simscape 1.0” 国内販売開始
- インベンション・マシン社の製品イノベーション支援ソリューション “Goldfire” に関する国内マスター販売代理店契約を締結

2007年6月

- ANSYS社製電子機器熱設計支援解析ソフトウェア “ANSYS Icepak”、寄生パラメータ抽出ツール “ANSYS Icemax” 国内販売および、技術コンサルティングサービス開始
- マルチスケールCAEツール “Multiscale.Sim” 販売開始

■ ITソリューション

2007年5月

- 米国ファイバーリンク社のモバイル・エンドポイント・エンフォースメント “Fiberlink” のサービス開始

- ◆ 人づくり支援を目的としたCAEユニバーシティの開講（2007年10月）準備
- ◆ 新製品の開発および大幅な機能アップ開発
- ◆ 重点顧客戦略の推進

		2007年度第1四半期
CAEソリューション	CAE事業分野の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御系は、既存の大手自動車、電機メーカーからの長期保守契約の増加 ・ 機械系は、大手重電メーカーからの大型受注 ・ 光学系は、前年同様、照明解析ソフトウェアの販売が好調 ・ エレクトロニクス系は、高周波回路設計システムが競合ソフトウェアからのリプレイスによる大幅売上増 ・ 自社開発の大規模音響解析ソフトウェアおよび樹脂流動解析ソフトウェアの新規開拓 ・ 自社開発の医用向け可視化ソフトウェアが健康管理センターや健康保険組合を中心に受注増 ・ 開発期間、開発コストを削減する自動化ソフトウェアの販売増
	サービス事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械系およびエレクトロニクス系において、受託サービス収入が増加

ITソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT資産管理ソフトウェアおよび端末エミュレータが大型の受注獲得 ・ 業務パフォーマンス改善ソフトウェアは、新規機能が追加されたことにより、自動車業界からの受注増 ・ 自社開発の内部統制リスク管理システムCi-Towerも好調 ・ セキュリティ関連ソフトウェアは、有力二次代理店が一次代理店になった影響による大幅な売上高減少（但し、代替施策により収益性改善）
-----------	--

第23期（2008年3月期）

第1四半期の業績・財務概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結] 第1四半期の概況

CYBERNET

（単位：百万円）

	2006年度第1四半期		2007年度第1四半期				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	計画	計画比
売上高	4,918	—	5,650	—	114.9%	5,180	109.1%
売上総利益	1,845	37.5%	2,235	39.6%	121.2%	2,025	110.4%
営業利益	603	12.3%	677	12.0%	112.2%	305	222.1%
経常利益	633	12.9%	679	12.0%	107.3%	325	209.2%
第1四半期純利益	347	7.1%	404	7.2%	116.3%	153	263.5%
1株当たり四半期純利益	1,099.43円	—	1,275.66円	—	(+176.23円)	—	—
株主資本比率	68.7%	—	66.4%	—	(△2.3%)	—	—
1株当たり純資産	28,987.71円	—	32,757.93円	—	(+3,770.22円)	—	—

(1) 売上高

CAE、ITソリューションサービス共に、各主力ソフトウェアが順調に伸びたことにより、売上高で前年比14.9%アップとなり、計画を上回ることができました。

(2) 収益

- ①売上高の伸びが本社移転費用の一部を吸収。
- ②一部経費（広告宣伝費、本社移転後整備費用等）の使用が第2四半期にずれ込み。
- ③内部統制リスク管理システムツールが好調に推移し、収益に貢献。

[連結] 損益計算書の概要

CYBERNET

(単位：百万円)

	2006年度 第1四半期	2007年度 第1四半期	前年同期比	計画比	内訳
売上高	4,918	5,650	114.9%	109.1%	
売上原価	3,073	3,414	111.1%	108.2%	商品+265、製品製造△51、技術サービス+23
売上総利益	1,845	2,235	121.2%	110.4%	
販売費及び一般管理費	1,241	1,558	125.6%	90.6%	
営業利益	603	677	112.2%	222.1%	
営業外収益	29	19	64.3%	95.7%	受取利息等△2、為替差益△2、助成金収入△8
営業外費用	0	16	—	—	為替差損+16
経常利益	633	679	107.3%	209.2%	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	—	1	—	—	固定資産除却損+1
税引前当第1四半期純利益	633	678	107.1%	208.9%	
法人税、住民税及び事業税	224	168	75.2%	97.2%	
法人税等調整額	61	105	171.4%	—	
少数株主利益	△0	0	—	—	
第1四半期純利益	347	404	116.3%	263.5%	

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

9

[連結] 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	2006年度 第1四半期	2007年度 第1四半期	増減	前年比	売上比	内容
人件費	600	647	47	107.9%	11.5%	正社員29名増加
通信費	44	45	1	103.4%	0.8%	
旅費交通費	63	63	△0	99.7%	1.1%	
備品費	39	147	108	377.7%	2.6%	本社移転+111
募集採用費	34	26	△8	76.9%	0.5%	募集広告△9
教育研修費	10	10	0	101.0%	0.2%	
家賃	68	213	145	312.7%	3.8%	本社新旧事務所の重複3ヶ月分
保守費	11	10	△1	91.8%	0.2%	
減価償却費	23	33	10	142.9%	0.6%	本社移転+11
のれん償却	25	29	4	—	0.5%	昨年5月取得の京浜7-ネットワークの4月分
広告宣伝費	135	130	△5	96.3%	2.3%	
業務委託費	75	67	△8	89.1%	1.2%	
支払手数料	54	75	21	138.9%	1.3%	本社移転+19
その他の経費	60	63	3	104.5%	1.1%	
合計	1,241	1,558	317	125.6%	27.6%	

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

10

◆ 当四半期の為替の状況

- 前年同期実績計上レート差異 +3.06円/USD (115.14円/USD ⇒ 118.20円/USD)
- 予算レートとの差異 +0.20円/USD (118.00円/USD ⇒ 118.20円/USD)
- 調達レート 115.60円/USD (予算レートとの差異2.40円/USD)

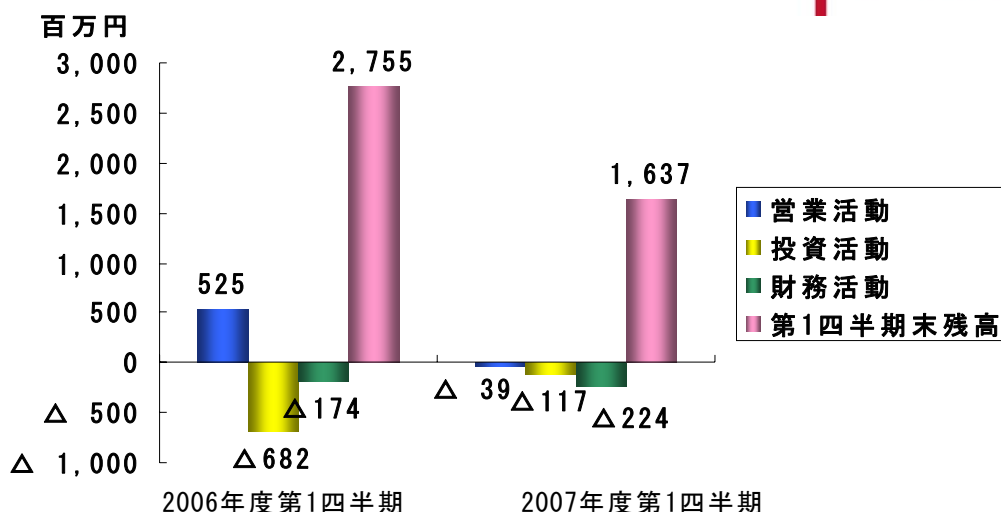
◆ 売上総利益の増減要因

- 為替変動によるもの △ 47百万円
- 原価率増減によるもの + 11百万円
- 売上高増加によるもの + 392百万円
- 技術サービス原価増加によるもの △ 23百万円
- 合計 + 332百万円

◆ 当四半期の為替差損益

- 外貨預金評価損益 38百万円
- 買掛金評価損益 △ 61百万円
- 決済時損益 37百万円
- 為替予約評価損益 △ 30百万円
- 合計 △ 16百万円

[連結] キャッシュ・フロー



営業活動	
税引前第1四半期純利益	+ 678
減価償却費	+ 89
のれん償却	+ 28
売上債権の減	+ 669
仕入債務の減	△ 754
賞与引当金の増	△ 153
役員賞与引当金の増	△ 46
法人税等の支払	△ 743

投資活動	
ソフトウェア	△ 105
財務活動	
配当金の支払	△ 226

[連結] ソリューション別損益の概況

CYBERNET

2006年度第1四半期

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	4,251	86.4%	—	667	13.6%	—	—	4,918	—
営業費用	3,186	—	74.9%	676	—	101.3%	452	4,314	87.7%
営業利益	1,065	—	25.1%	△ 8	—	—	△ 452	603	12.3%

2007年度第1四半期

(単位：百万円)

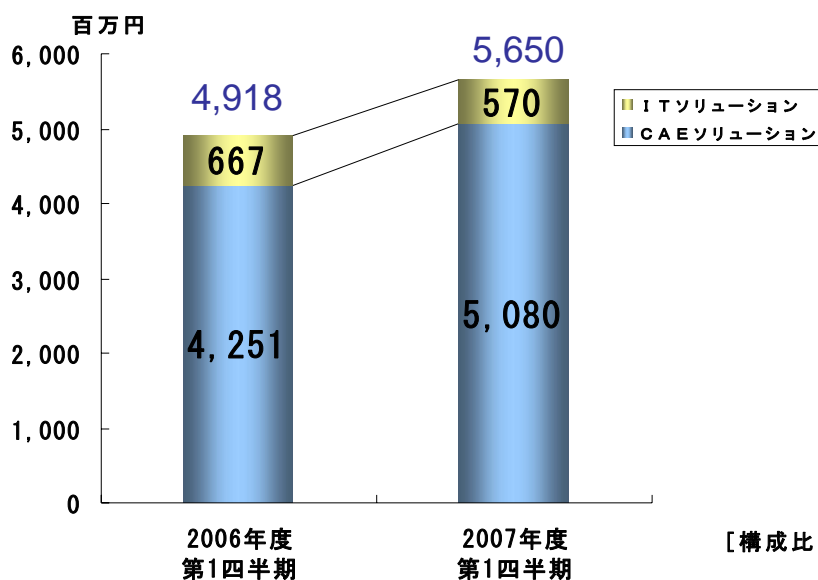
	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	5,080	89.9%	—	570	10.1%	—	△ 0	5,650	—
営業費用	3,712	—	73.1%	532	—	93.2%	728	4,972	88.0%
営業利益	1,368	—	26.9%	38	—	6.8%	△ 729	677	12.0%

ITソリューションサービスの売上高減少要因は、前年9月に子会社がセキュリティ商品における大口顧客との取引を失ったことによるものですが、他の既存商品の販売強化への取り組みや新規商品の発掘に注力した結果、収益率が改善しております。

[連結] ソリューション別売上高

CYBERNET

前年比 (CAE : 119.5% IT : 85.5%)



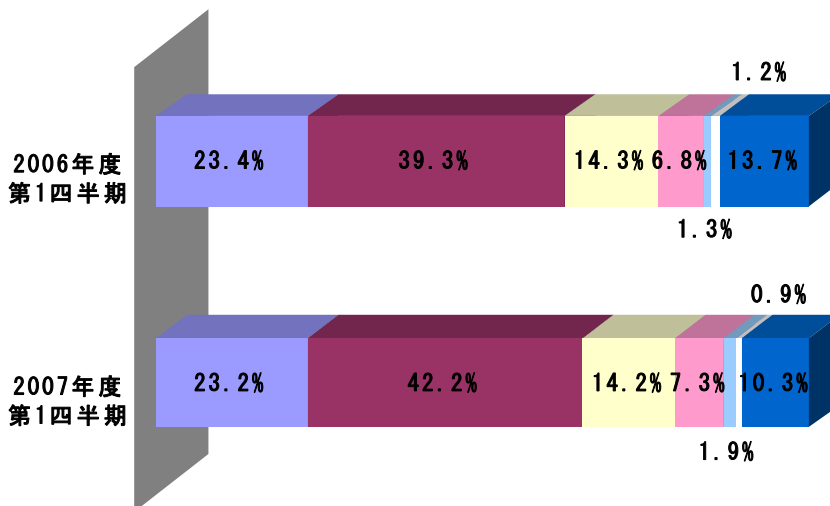
[構成比]

	2006年度第1四半期	2007年度第1四半期
CAE	86.4%	89.9%
IT	13.6%	10.1%

[連結] 応用分野別売上高シェア

CYBERNET

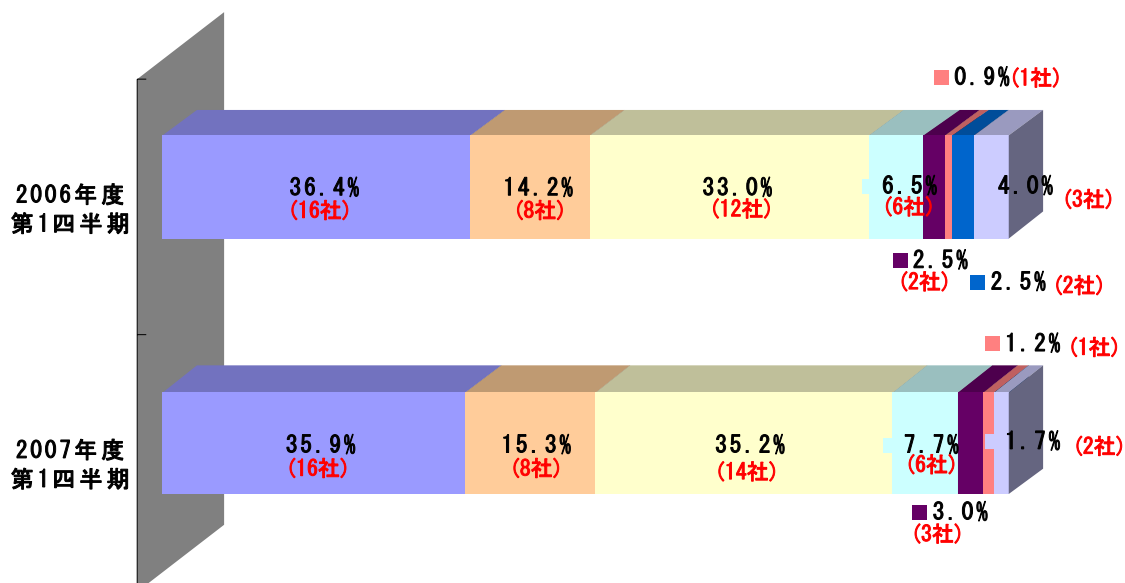
- 機械系
- 数値・制御・通信系
- 光学・照明系
- 回路設計系
- 可視化系
- 新規 C A E
- I Tソリューション



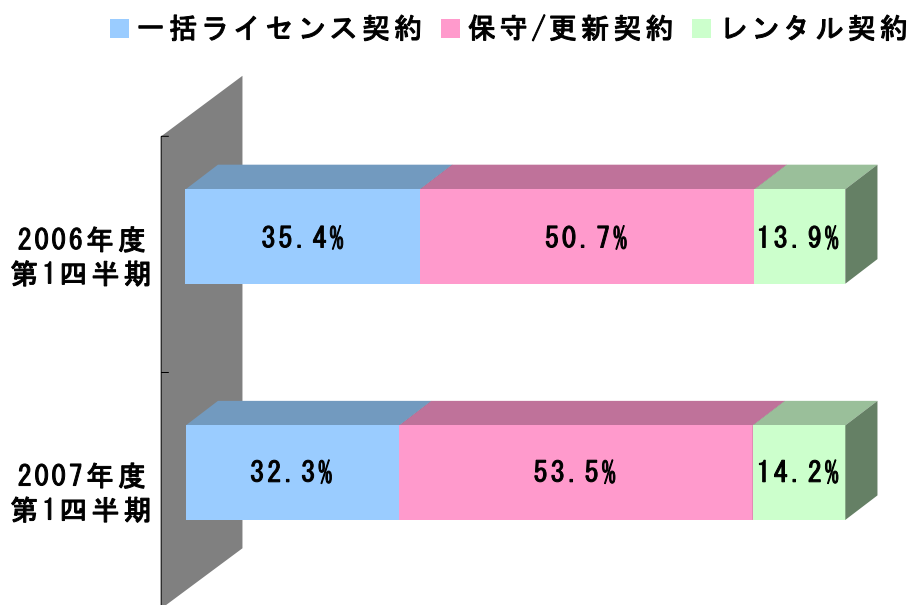
[連結] 業種別売上高シェア（上位50社）

CYBERNET

- 電気機器
- 精密機器
- 輸送用機器
- 情報・通信
- 研究機関
- 機械
- 医薬品
- その他



2006年度の数値には、子会社が前年9月に失った大口顧客（その他）分の249百万円は含んでおりません。



(単位：百万円)

	売上高	前年比	計画比	経常利益	前年比	計画比	第1四半期純利益	前年比	計画比
サイバネット	5,161	118.8%	108.7%	682	99.4%	170.7%	408	101.7%	177.7%
ケイ・ジー・ティー	435	82.7%	113.3%	8	—	—	6	—	—
プラメディア	69	—	133.8%	4	—	—	4	—	—

連結子会社の状況

(1) ケイ・ジー・ティー

- ① 可視化分野において、自社開発の医用画像ソフトウェアが堅調に推移し、収益に貢献しました。
- ② IT分野では、自社開発の内部統制リスク管理ソフトウェアが好調に推移し、収益に貢献しました。
その結果、収益面で計画（経常損失△74百万円）を大きく上回りました。

(2) プラメディア

- ① 自動車関連を中心として、プラスチック解析の需要拡大が見込まれており、それに対応すべく、主力ソフトウェアの大幅な機能アップ開発に着手しました。
- ② サイバネットとの連携により、引き合いが増加してまいりました。





















第23期（2008年3月期）

中間期及び通期業績予想

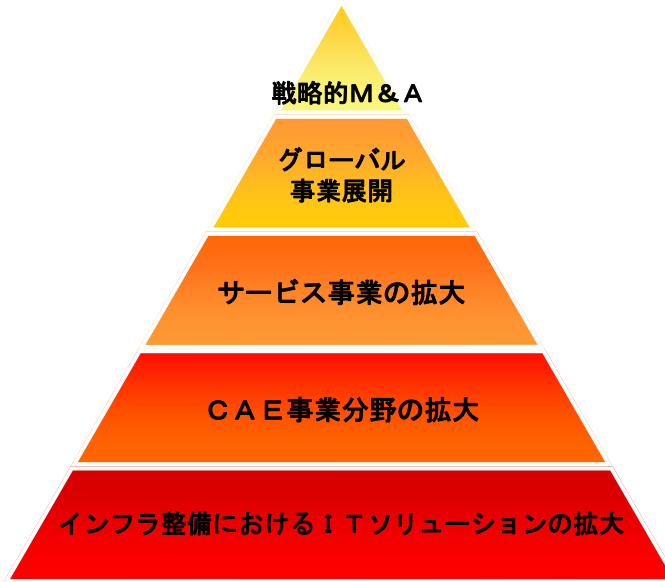
つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

顧客業界の見通し

CYBERNET

産業天気図 (2007年7月～9月) 2007年7月2日 日本経済新聞より		
		<プラント・造船>  →  高水準の需要続く。船価回復で利益貢献本格化
<産業・工作機械>  →  受注は高原状態で推移。輸出がけん引役	<電子部品・半導体>  →  半導体はDRAM除き堅調。液晶パネルも好転	<情報>  →  システム受注堅調。機器販売台数は減少続く
<通信>  →  携帯は各社のシェア争いがさらに加速しそう	<家電>  →  薄型テレビは依然好調。大型タイプ普及期に	<自動車>  →  国内販売の低迷続くが海外市場は好調維持
<精密機械>  →  デジカメは夏商戦で需要に弾み。複写機も堅調	<化学>  →  需要は堅調。原料ナフサ高で価格転嫁がカギ	<医薬>  →  大型薬が海外で堅調。国内は新薬効果に期待

ものづくり支援における
ワンストップソリューション企業



- シナジー効果を生むCAE企業の取り込み
- CAEソフト会社への資本参加
- CAE周辺ビジネスへの参加

- 中国、アジア地域でのビジネス展開
- 自社開発製品の海外展開
- 海外ビジネスパートナーとの新事業構築

- コンサルティング&エンジニアリングの展開
- プログラム受託開発
- CAEユニバーシティ設立
- CAE技術者の育成

- 自社開発製品の拡大
- 新商品の開拓
- 新規応用分野の開拓
- 既存商品の販売強化

- PCクライアント事業の強化
- サーバマネジメント事業への参入
- 業務パフォーマンス改善プロダクトのCAD・CAE顧客へ拡販
- 内部統制リスク管理ソフトウェアの拡販

2008年3月期の今後の取組み

2007年度の取組み

C A E	CAE事業分野の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・機械系の投入新商品“ANSYS Icepak”, “ANSYS Icemax”, “Multiscale.Sim”によるANSYSプロダクトの拡販 ・制御系のMATLABの複合領域フィジカルモデリングツール“Simscape 1.0”の販売に伴うMATLAB製品の拡販 ・制御系のMATLAB周辺ビジネスの強化 ・光学（照明）系の最適化モジュールリリースによる“LightTools”の拡販 ・製品イノベーション支援ソフトウェアの“Goldfire”の拡販 ・マルチプロダクトソリューションの拡大 ・バイオ分野（創薬関連）の商品拡充
	サービス事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・制御系、光学系における受託解析サービスへの参入 ・CAEユニバーシティの開設
	グローバル事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・“WAON”の海外販売開始 ・韓国、台湾市場調査開始 ・メカニカル、EDA以外の分野でも中国進出開始
I T	インフラ整備におけるITソリューションの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・業務パフォーマンス改善ツール“epiPLEX”のCADユーザ及びMATLABユーザへの拡販 ・“Ci-Tower”の拡販 ・モバイルユーザ向け検疫サービス“Fiberlink”の拡販

[連結] 業績予想

CYBERNET

[中間期]

(単位：百万円)

	2006年度中間期 実績	2007年度中間期 今回予想	売上比	前年比	2007年度中間期 当初予想
売上高	9,308	10,230	—	109.9%	10,230
営業利益	1,089	870	8.5%	79.9%	870
経常利益	1,258	910	8.9%	72.3%	910
中間純利益	694	645	6.3%	92.8%	645

[通期]

(単位：百万円)

	2006年度通期 実績	2007年度通期 今回予想	売上比	前年比	2007年度通期 当初予想
売上高	18,998	21,500	—	113.2%	21,500
営業利益	2,540	2,640	12.3%	103.9%	2,640
経常利益	2,827	2,720	12.7%	96.2%	2,720
当期純利益	1,516	1,732	8.1%	114.2%	1,732

業績予想について

- (1) 当業績予想における原価算入為替レートは118.0円/ドルです。
- (2) 当第2四半期以降の為替予約状況は、想定送金額の約50%相当額を平均115円/ドルです。
- (3) 子会社プラメディアは、主力製品の大幅な機能アップ開発に注力するため、同社の中間期の業績状況により、株式評価減を行う可能性があるため、中間業績予想に特別損失270百万円を見込んでいます。併せて、当社所有の投資有価証券売却益の特別利益100百万円を見込んでいます。

[個別] 業績予想

CYBERNET

[中間期]

(単位：百万円)

	2006年度中間期 実績	2007年度中間期 今回予想	売上比	前年比	2007年度中間期 当初予想
売上高	8,092	9,200	—	113.7%	9,200
営業利益	1,174	1,000	10.9%	85.2%	1,000
経常利益	1,326	1,020	11.1%	76.9%	1,020
中間純利益	764	488	5.3%	63.8%	488
1株当たり中間配当金(円)	700	700	—	0	700

[通期]

(単位：百万円)

	2006年度通期 実績	2007年度通期 今回予想	売上比	前年比	2007年度通期 当初予想
売上高	16,604	19,000	—	114.4%	19,000
営業利益	2,543	2,660	14.0%	104.6%	2,660
経常利益	2,802	2,700	14.2%	96.4%	2,700
当期純利益	1,493	1,453	7.6%	97.3%	1,453
1株当たり期末配当金(円)	900	900	—	0	900

参考資料（個別業績情報）

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況

CYBERNET

- ◆ 名 称 : サイバネットシステム株式会社（東証第一部4312）
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本 社 : 東京都千代田区神田練塀町3
- ◆ 支 社 : 西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ 設 立 : 1985年4月17日
- ◆ 資 本 金 : 995百万円
- ◆ 社 員 数 : 2007年4月1日現在
連結 427名
個別 344名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションの提供、各種
コンサルティングの提供
- ◆ 子 会 社 : 連結 (株)ケイ・ジー・ティー
(株)プラメディア
非連結 西希安工程模擬軟件（上海）有限公司（略称：CCA）
莎益博設計系統商貿（上海）有限公司（略称：CCS）

CAEとは

Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

〔個別〕 損益計算書の概要

CYBERNET

(単位：百万円)

	2006年 第1四半期	2007年 第1四半期	前年比	計画比	内訳
売上高	4,342	5,161	118.8%	108.7%	
売上原価	2,623	3,109	118.5%	109.9%	商品原価+462、技術サービス原価+23
売上総利益	1,719	2,051	119.3%	106.9%	
販売費及び一般管理費	1,054	1,364	129.4%	89.2%	
営業利益	665	686	103.3%	176.1%	
営業外収益	21	11	55.0%	119.1%	受取利息配当金△2、為替差益△2、助成金△3
営業外費用	0	16	—	—	為替差損+16
経常利益	686	682	99.4%	170.7%	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	—	0	—	—	
税引前当第1四半期純利益	686	682	99.3%	170.6%	
法人税、住民税及び事業税	223	167	75.1%	97.5%	
法人税等調整額	61	106	172.1%	—	
少数株主利益	—	—	—	—	
第1四半期純利益	402	408	101.7%	177.7%	

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

27

〔個別〕 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	2006年度 第1四半期	2007年度 第1四半期	増減	前年比	売上比	内容
人件費	511	545	34	106.7%	10.6%	社員増加23名
通信費	40	41	1	103.0%	0.8%	
旅費交通費	56	54	△2	96.1%	1.1%	
備品費	35	142	106	401.0%	2.8%	本社移転+111
募集採用費	31	22	△9	70.4%	0.4%	募集広告△9
教育研修費	10	8	△1	87.8%	0.2%	
家賃	57	202	145	353.5%	3.9%	本社新旧事務所の重複3ヶ月分
保守費	10	9	△1	89.9%	0.2%	
減価償却費	21	32	10	146.8%	0.6%	本社移転+11
のれん償却	7	11	3	150.0%	0.2%	昨年5月取得の京浜7-ワークの4月分
広告宣伝費	122	116	△6	94.9%	2.2%	
業務委託費	60	59	△1	98.1%	1.1%	
支払手数料	51	72	20	139.3%	1.4%	本社移転+19
その他の経費	37	46	9	124.9%	0.9%	
合計	1,054	1,364	310	129.4%	26.4%	

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

28

〔個別〕ソリューション別損益の概況

CYBERNET

2006年度第1四半期

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比		実績	実績
売上高	4,139	95.3%	—	203	4.7%	—	—	4,342	—
営業費用	3,043	—	73.5%	220	—	108.3%	414	3,677	84.7%
営業利益	1,095	—	26.5%	△ 16	—	—	△ 414	665	15.3%

2007年度第1四半期

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比		実績	実績
売上高	4,912	95.2%	—	249	4.8%	—	—	5,161	—
営業費用	3,525	—	71.8%	267	—	107.2%	682	4,474	86.7%
営業利益	1,387	—	28.2%	△ 18	—	—	△ 682	686	13.3%

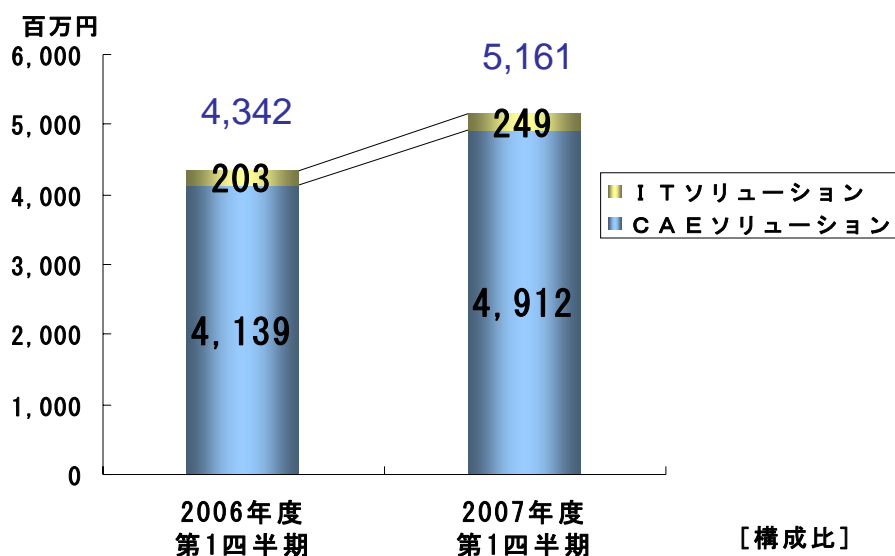
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

29

〔個別〕ソリューション別売上高

CYBERNET

前年比 (CAE : 118.7% IT : 122.4%)



[構成比]

	2006年度 第1四半期	2007年度 第1四半期
CAE	95.3%	95.2%
IT	4.7%	4.8%

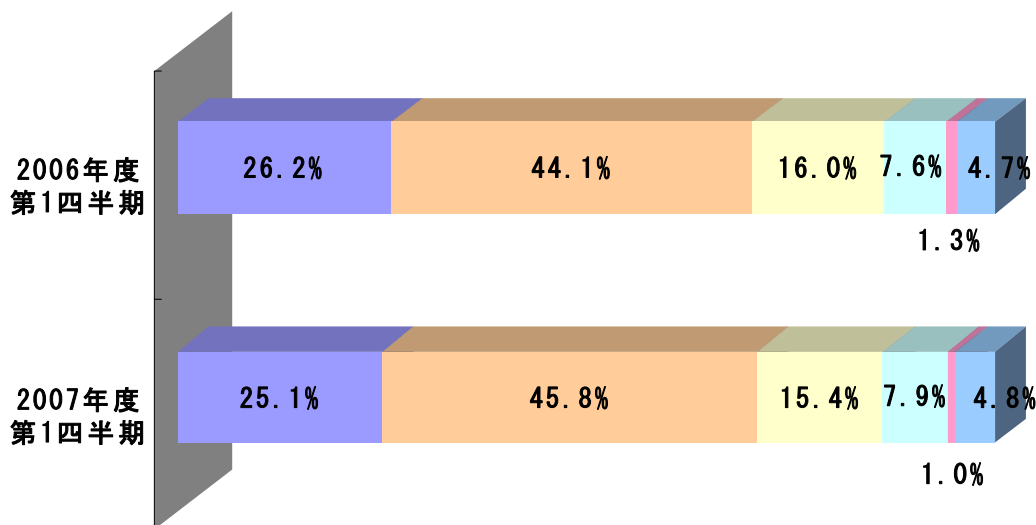
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

30

[個別] 応用分野別売上高シェア

CYBERNET

- 機械系
- 数値・制御・通信系
- 光学・照明系
- 回路設計系
- 新規CAE
- ITソリューション



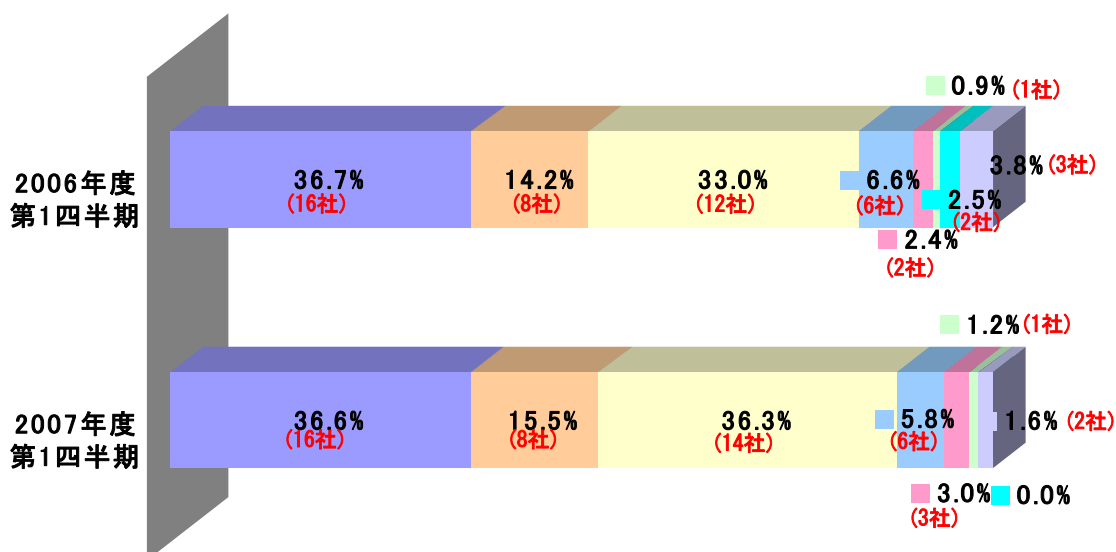
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

31

[個別] 業種別売上高シェア

CYBERNET

- 電気機器
- 精密機器
- 輸送用機器
- 情報・通信
- 研究機関
- 機械
- 医薬品
- その他



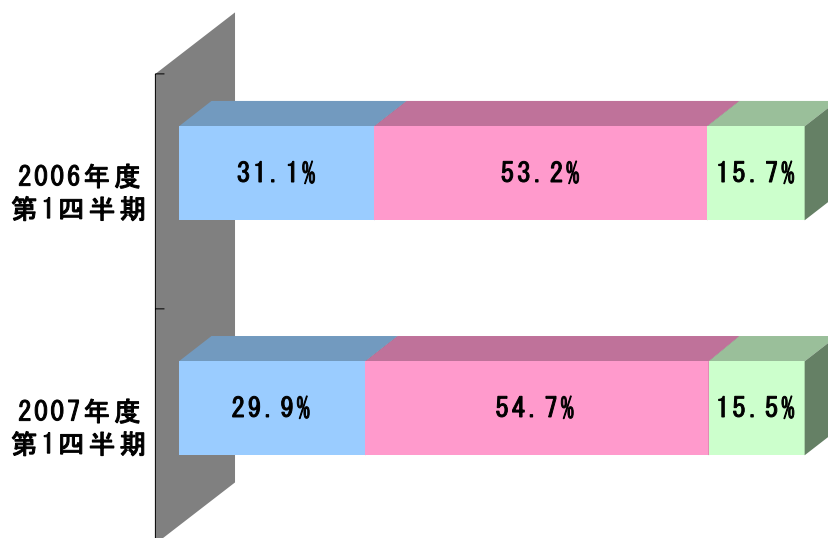
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

32

[個別] ライセンス契約別売上高シェア

CYBERNET

■ 一括ライセンス契約 ■ 保守/更新契約 ■ レンタル契約



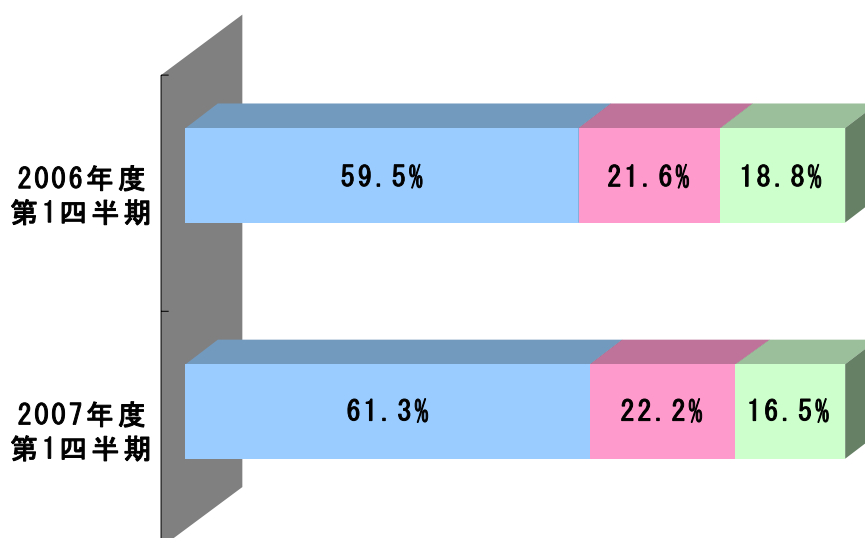
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

33

[個別] 地域別売上高シェア

CYBERNET

■ 東日本 ■ 中日本 ■ 西日本



© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

34

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

CYBERNET

■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフトビル
電 話	03-5297-3066
F A X	03-5297-3609
Eメール	irquery@cybernet.co.jp
ホームページ	http://www.cybernet.co.jp

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。